

＊古平町子育て支援センター＊



令和8年6月24日(水)発行

まだまだ気温の変化が厳しく、風邪や感染症などが流行る時期にもなります。先月から、のどの痛み、鼻水や鼻づまり、微熱などが数週間から2ヶ月近く長引くお子さんやうつってしまった保護者の方が多くいたようです。手洗い等、予防に気を配りながら元気に過ごしましょう！

また、これからは雨の季節にもなり、外で遊べない日も多くなると思います。そんな時は支援センターへ来て運動不足を解消しましょう。是非遊びに来てリフレッシュしてくださいね。



・ ・ 広場の様子 ・ ・



初めてのブランコ！
気持ちよくて楽しかったね😊

お父さん、お母さんへのプレゼント制作。いつもありがとう♡

じょうずな手の洗い方

～しっかり丁寧に洗い、ばい菌を流しましょう。～

① 水道水で手をぬらす。



④ 親指を反対の手でつつんで洗う。



② ハンドソープ等で手の平、甲を洗う。



⑤ よくこすって爪の間を洗う。



③ 指と指の間を洗う。



⑥ 手首を洗う。流水で洗い流す。



知っておこう！～マダニの生態・処置方法～



マダニとは、生息地は山林や草原で春から秋にかけて活動します。マダニとは大型ダニの総称で動物などに寄生吸血します。通常の体長は3mmくらいですが、吸血すると1～1.5cmにも膨れあがります。マダニに刺されたら多少の痛みや痒みがある場合がありますが、刺されたからといって全ての場で症状が出ることはありません。症状が出るのは、刺されたマダニが細菌やウイルスを保有している場合です。マダニが媒介する主な国内の感染症は、日本紅斑熱・ライム熱・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)です。発熱、発疹、頭痛などがみられ、重症になると死に至ることもあります。マダニに刺されても、あまり痛みや痒みを感じないので気付かないことが多いです。しかし、血を吸い続けることによってマダニは大きくなります。マダニに刺されたら、決して慌ててマダニを手で引っ張って自分で取らないでください。もし、手で無理に引っ張って取ろうとすると皮膚の奥深く刺さっているマダニの頭部や口部分が皮膚の中に残ってしまい感染症の原因になります。だから、ちょっと気持ち悪いかも知れませんが、マダニが咬んだそのままの状態ですできるだけ早く皮膚科を受診してください。病院が休みなどですぐを受診できない場合は、先が細いピンセットや毛抜きなどを使用し、マダニの口をつぶさないように、できるだけ皮膚に近い部分のマダニをつかんで慎重にゆっくりと上に引っっこ抜きます。引っっこ抜いた後は、その部分を消毒しておきましょう。念のために、後日、皮膚科を受診しましょう。

令和7年7月の予定

日	火	水	木	金
	1	1	2 みんなの広場 (10:00~11:30)	3
6	7 みんなの広場 (10:00~11:30)	8	9 みんなの広場 給食試食会 (10:00~11:30)	10
13	14 みんなの広場 (10:00~11:30)	15	16 みんなの広場 (10:00~11:30)	17
20 海の日	21 みんなの広場 (10:00~11:30)	22 行事の広場 人形劇鑑賞会	23 みんなの広場 (10:00~11:30)	24
27	28 みんなの広場 避難訓練 (10:00~11:30)	29	30 みんなの広場 (10:00~11:30)	31

★水分補給は、各自でご準備ください

★斜線(＼)日は利用出来ません。★何も書いていない日は全て自由開放日です。＊担当が不在の場合もあります

＊22日の人形劇鑑賞会に参加される方は、9:45までに来園してください